

ねらい

就学時検診を終え、小学校入学に向けて子どもたちの期待感や保護者の心配などが少しずつ表れてくる時期に、子どもたちをどのように支えていくべきかをともに考える機会とする。

ポイント

- 『幼稚園教育』や『進学に向けて今大事にすること』などについては園でも発信をしているが、直接、小学校の校長から話を聞くことで、関わりへの理解や、不安や心配の解消につながることを願い計画した。
- ・園長から校長へ趣旨を伝えた後、年長児担任から講演への願い(幼児期の学びや育ちのつながり、親としてのサポートの在り方、互いを認め合う心の育ちなど)を伝える。
  - ・年長児担任の思いを受け、当日の講演の内容を(パワーポイントもとに)事前に打ち合わせる。
  - ・講演と共に、小学校への質疑応答の時間を設け、保護者の不安解消につなげる。

実践内容

- ① 校長が幼稚園で、年長児の保護者対象にパワーポイントを用いて講演。

内容 「小学校の学びとは」  
「親としてサポートしてほしいこと」  
「互いを認め合う力」

- ② 『互いを認め合う力』について  
⇒小学校全校集会での講演内容を取り入れ、幼小ともに人権を大事にした取組を進めていることを発信。理解につながった。
- ③ 質疑応答  
⇒保護者から給食に対する心配な思いを出された。校長が受け止め、子どもに寄り添った関わりを大事にしていると応答。加えて、保護者の心配な思いは、小学校へ伝え、共に解決につなげたいことという言葉は、保護者の安心感につながった。心配な思いはどの保護者も同じであることを共有する機会ともなった。



成果と課題

[成果]

- ・講演内容を検討する中で、幼稚園と小学校で大事にしていることを共有する機会となった。また子どもの育ちや学びをつなげる取組を進める足掛かりとなった。
- ・幼稚園で、校長の話や話を直接聞きくことができたことは、小学校に対する不安感をやわらげる機会となった。

[課題]

- ・保護者にとっても園にとっても、有意義な機会であったので、ぜひ継続して取り組みたい。